

## 10年後も夢や希望を持って住み続けられるまちのための 第2回町民ワークショップ

- 日時 令和元年8月28日(水)  
午後6時30分～午後6時30分
- 場所 ・文化会館小ホール  
・水堀コミュニティセンター
- 参加者 43名【水堀会場19名(町民10名、町職員9名)  
【文化会館24名(町民10名、町職員14名)】

『10年後も夢や希望を持って住み続けられるまち』をテーマに、第2回目の「町民ワークショップ」を開催しました。第1回目で議論した「活力あるマチ」「安心して暮らせるマチ」について挙げられた様々な意見を参考に、活力あるマチのためには「お金を稼ぐ」。安心して暮らせるマチのためには「(独りのための、みんなのための)必要な居場所づくり」の2テーマについて具体的な方策を話し合いました。

この度のワークショップで出された意見・アイディアは令和2年度からスタートする第6次江差町総合計画への反映を検討しています。参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

各会場で出された意見については  
次のページからご覧ください。

# 文化会館 第①グループ

## 検討テーマ:【お金を稼ぐ】

### 私達が考えた『稼ぐための方策』

こんなことが必要！

#### 観光(外貨)

- ・宿泊者を増やす
- ・なべまつりのグランプリを商品に
- ・飲食店等へのアクセスがすぐ検索できるようなサイトを構築
- ・観光の方向性を確立
- ・もっとPRを行う
- ・子どもの遊び場をつくる
- ・飲食店を活性化

#### 産業の付加価値

- ・商品価値のストーリーづくりが大切
- ・各宿泊施設が提供する食事で江差らしい統一した品を決める
- ・ナマコの付加価値を上げる

#### 地産地消

- ・産業間で連携強化(農業・漁業・商業)
- ・地場産を町民が日常的に購入できる仕組み
- ・給食に地域のものを取り入れる
- ・地場産を活かす

なので...

### 『観光客に満足してもらう』

を提案します！！

#### ○目的

江差に足を止めてもらう、泊まってもらう

#### ○内容・手法

- ・宿は檜山管内皆同じ食材。「江差らしい」食材の提供
- ・「観る」「食べる」「体験する」を楽しみ、まずは一日江差に滞在してもらう

#### ○効果

- ・食材提供者、宿泊事業者、観光、飲食店の活性化
- ・リピーターを増やし、より江差の魅力に触れてもらう
- ・「働く場所」の増加
- ・各産業間のコラボレーション

# 文化会館 第②グループ

## 検討テーマ:【必要な居場所づくり】

### 私達が考えた『必要な居場所』

こんなことが必要！

#### 誰のため

- ・高齢者が集える
- ・男性が集える
- ・気軽に集える
- ・町内会で集える
- ・転勤者が集える
- ・町民同士が集える

#### 解決すべき課題

- ・空きスペースが多い
- ・近くにある拠点づくり
- ・話し相手がほしい
- ・町民無料の追分会館で集まる
- ・人との繋がりがつくれる仕組みが必要
- ・老人クラブ活動(会員数)が減ってきている
- ・スポーツができる屋内施設

#### 情報発信

- ・町に広報活動ができる機関があればいい
- ・アピールや宣伝が必要
- ・情報発信が足りない
- ・広報紙以外のアピール

なので・・・

### 『街なかの公共施設等を活用した ひとの交流の創出と情報発信の強化』

を提案します！！

#### ○理由

人とのつながりが薄くなってきているため

(子ども会・老人クラブ・町内会の会員減少、若い夫婦同士のつながり、転勤者と地元の方のつながり交流)

#### ○目的

多様な町民の交流場所を確保

(公共施設、民間施設などを活用)

# 水堀コミュニティセンター 第①グループ 検討テーマ:【お金を稼ぐ】

## 私達が考えた『稼ぐための方策』

こんなことが必要！

### 観光

- ・障がい者が遊べる
- ・奥尻を観光メニューに入れる
- ・手ぶら観光
- ・厚沢部の道の駅のような産直
- ・埠頭の整備
- ・かもめ島周辺の整備、活用
- ・遊ぶ場所の創出(ゴーカート、セグウェイなど)
- ・お土産の充実

### 食

- ・江差産のものが食べられる
- ・朝市のような場所
- ・フードコート(複数の飲食店が集合し、座席を共用しているセルフサービス形式の飲食スペースなど)
- ・江差の看板メニュー(特産品)となるものをつくる
- ・自分で選んだ海の幸を調理して食べられる
- ・通年通して食べられる

なので・・・

## 『かもめ島を活かした食と遊びの空間づくり』

を提案します！！

○理由 観光客を呼び込む

○効果 観光客の増、経済活性化

○内容 ・手ぶらでできるキャンプ

・フードコート

・近郊のものを使った丼ぶり

観光メニュー化

○実施主体 第一次産業者・民間企業(起業支援も含む) など

# 水堀コミュニティセンター 第②グループ

## 検討テーマ:【必要な居場所づくり】

### 私達が考えた『必要な居場所』

こんなことが必要！

誰のため	解決すべき課題	欲しい機能
<ul style="list-style-type: none"><li>・趣味を共有する仲間</li><li>・子どもが安心して遊べる</li><li>・学童保育</li><li>・子どもが交流できる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・公園の遊具を充実</li><li>・スポーツができる屋内施設</li><li>・スクールバスの停留所を充実</li><li>・公民館等の開放日をつくる</li><li>・買い物に困らない</li><li>・自宅を活用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・働ける</li><li>・ふれあいサロン</li><li>・食事会</li><li>・ドローン講習が受けられる</li><li>・夕陽が見える</li></ul>

なので・・・

『趣味を活かせる場所』

『子どもが集える場所』

を提案します！！

○目的 趣味を通じて交流する

○対象 子ども・大人

○効果 趣味がお金になる

○内容

- ・子どもに昔の遊びを教える
- ・遊具を自作
- ・流木を活用
- ・作品を展示

○理由 遊具があれば集まれる

○目的 子どもを通じた交流

○対象 子ども

○効果 子どもを通じた親の交流